

会 議 録		令和7年10月10日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和7年度第2回）		
開催日	令和7年10月8日（水曜日）		
時 間	午後3時から午後4時30分までの間（90分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	春田会長、廣瀬副会長、山内委員、塩邊委員、飯田委員、今井委員、梅垣委員 （欠席 森委員、海野委員） 計7人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、 警備課長、広聴相談係長、交通指導係長 計10人		
諮 問 事 項	交通安全対策について		
会 議 内 容	1 署長挨拶		司会 副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議		司会 会長
	(1) 諮問事項説明 交通安全対策について～交通課長		
	【委員】交通安全対策のための様々な取組をしていることが分かり、頼もしく感じる。認知機能検査、俊敏性を測定するクイックアーム、飲酒体験ゴーグルを体験したが、自身の認知機能、俊敏性の実年齢の現状が分かり、運転時に自制心を持たせる意味でも有効的なものであることが分かった。		
	また、飲酒体験ゴーグルについても、飲酒時にはいかに正常に運転できないかを体験できるもので、飲酒運転防止を意識付けするために効果的な体験機材であると感じた。		
	【委員】車と動物との交通事故が多いという説明を受けたが、山間部が大部分を占める南丹市・京丹波町という土地柄特有の事故形態であり、実際に鹿が道路に飛び出して車に衝突するドライブレコーダーを視聴したが、衝突時の画像の乱れ具合から、その衝撃の大きさが分かる。車を運転する者ならば誰もが遭遇する事故であるので、夜間の運転時には細心の注意を払うように地元でしっかり広報させていただく。		
	【委員】人と車の交通事故や工作物と車の交通事故は、直ちに警察に届出しなければいけないことは分かっているが、動物の場合も同様であるのか。		

【警察】動物の場合も同様で、直ちに警察に報告しなければならない。

【委員】認知機能検査と運転免許の自主返納について説明を受けたが、南丹市と京丹波町の土地柄、自動車を手放せない高齢者もいる。両自治体共に、運転免許の自主返納者に対する支援事業として、市町営バスの無料利用券を交付する取組を行っているが、今後、自主返納者に対する支援施策の拡充や公共交通の活性化を検討していることから、引き続き、警察と自治体の連携をお願いする。

【警察】健康で安全運転を継続してもらうことが重要であるが、運転に不安がある高齢者が自主返納を行いやすくする環境作りのために、自治体の取組に全面的に協力させていただく。

また、警察としても、交通安全社会の実現のために、住民や自治体等と連携して諸対策を推進していく。

【委員】南丹市美山町はツーリングのメッカとして、全国的に知れ渡っており、美山町内だけでなく、美山町に至るまでの南丹市内や京丹波町内の道路においても二輪運転者のマナーについて目に余るものがあり、いつ事故が発生してもおかしくない走行方法であると感じている。

また、以前、二輪車20数台の大集団が爆音を立てながら走行しており、地元住民から怖いと言った声や騒音苦情も出ている。二輪車や自動車の運転者に対して、交通法令の遵守や交通マナーをどのように広報しているのか。

【警察】警察官や赤色灯を搭載している警察車両には抑止力があり、二輪車や自動車の運転者が目にするすることで、交通マナーだけでなく観光マナーといった面でも遵守が期待できるものと認められることから、警察本部交通機動隊の応援を得て、視覚に訴える、見せる警察活動を推進している。

また、自動車や二輪車が集まる道の駅等において啓発チラシを配布して、交通法令遵守や交通マナーの意識向上を訴える広報啓発活動を実施している。

今年の夏には当署管内において100台近くの二輪車の集団が走行し道の駅で屯しているという通報があり対応した。走行方法や消音器不備などの違反行為が認められれば検挙している。

【委員】効果的な広報啓発活動についてであるが、新聞に各警察署の交通違反取締り予定の日時、場所、内容が掲載されている。

京都府警察も公式FacebookやInstagramチャンネルを開設していることから、これらSNSを活用して、例えば「南丹市美山町内で白バイが集中取締り中」といった具体的な内容を掲載することで、運転者の心に響き、運転者に注意喚起を促すことが可能であると考える。

【警察】運転者に訴求する戦略的かつ効果的な情報発信方法として、今後の参考とさせていただく。

【委員】例年、秋の行楽シーズンが始まり観光客の増加に伴って、違法駐車が増加していることから、一層の対策をお願いする。

【警察】交通違反取締りと共に、まずは警察官や赤色灯を搭載している警察車両に

よる見せる活動により、違法駐車をさせない環境づくりを強化する。

(2) その他

【委員】以前、京丹波町が家庭で防犯カメラを購入し設置した場合に最大1万円を補助する支援事業を行っているという新聞記事を拝見した。警察の助言のもとで京丹波町が取り組んでいると考えるが、引き続き、設置促進のための自治体との連携をお願いする。

【警察】南丹署は、京丹波町と京丹波安全安心まちづくり協議会、南丹市と南丹安全・安心まちづくり連絡協議会をそれぞれ設置し、防犯環境の整備促進等に向けた各種取組を推進している。カメラには、犯罪者に犯罪を断念させる犯罪を抑止する効果、設置家庭の住民や設置施設の利用者等に安心感を与える効果などがある。引き続き、管内の安全安心を実現していくための治安対策の強化に向けて協働連携していく。

【委員】地元住民は警察官やパトカーを見ると安心を感じている。また、警察署、交番、駐在所が自宅近くにあれば心強く安心して暮らせる。警察署、交番、駐在所の前を通り掛かるだけでも安心感を覚えている。地元住民は警察署、交番、駐在所は、地域を明るく照らして住民生活を守る灯台と感じているところ、南丹署の建て替えは地元住民の関心も高い。進捗状況はどのようなものか。また、新庁舎のイメージ図的なものの公表予定はあるか。

【警察】現在、新庁舎の実施設計中であり、あくまで予定であるが、令和9年から工事が開始されて工事期間は約3年の予定であり、現在と同じ敷地内に建て替え予定である。新庁舎の詳細は保安上の観点から公表出来ないものもあるが、公表可能なものは説明させていただくことを検討する。建て替え工事によって治安維持に間隙が生じることはなく、引き続き、住民の期待に応える、住民が安全安心を実感できる警察活動を推進する。

【委員】地元住民は警察からの情報発信を待っている。警察からの情報発信が、官民一体となって南丹市と京丹波町の安全安心を実現していく気運を醸成すると考えることから、情報発信の重要性を認識し、効果的な広報啓発活動等を推進していただきたい。

【警察】南丹市と京丹波町の安全安心を実現するためには、住民に親しまれて、住民からの協力と支持信頼を確保し、住民にとって力強く頼りがいのある警察活動を推進することから、引き続き、あらゆる世代の住民に届き、訴求する創意工夫を凝らした効果的な情報発信を推進していく。

今後も、住民に安全安心を実感してもらえる効果的な広報啓発活動や情報発信方法等について、地元に着し各地域の住民と接している委員からの意見提言をお願いする。

【委員】現在社会は、あらゆる面で利便性が向上したことを背景として、人間関係の希薄化が言われている。言わば、隣の人は何する人ぞという状況である。人を相手にする警察活動においても、巡回連絡や聞き込み等のあらゆる活動で支障を来していると考えるが、地元の懸案や住民の困り事などを取りこぼさないために、地元に着し、住民の声に耳を傾ける警察活動をお願いする。

会 議
内 容

【警察】管内情勢や社会情勢への感度を高く保持し、各地域の実情をよく把握した上で、住民の声に耳を傾け、住民に寄り添った警察活動を推進する。

【警察】本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただく。今後とも忌憚のない意見をお願いします。

4 事務連絡

次回の京都府南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただきます。

以上

第2回京都府南丹警察署協議会開催状況

